

## 2. 火山の概況

(平成 16 年 1 月 29 日 ~ 平成 16 年 2 月 4 日)

期間中、5 火山の火山活動度レベル（以下、レベルという。）に変化はなかった。

阿蘇山では 1 月 14 日に規模の大きい土砂噴出が発生し、レベルが 2 から 3 に上昇している。浅部の熱的な活動が活発である。

浅間山では地震がやや多い状態が続いた（レベル 2）。

その他の火山については、吾妻山では地震がやや多い状態が続いた。箱根山では一時的に地震が多発した。三宅島では噴煙活動が継続し、多量の火山ガスの放出が続いた。霧島山では噴気活動が弱まりつつも継続した。口永良部島では地震が多発した。諏訪之瀬島では噴火があった。



図 1 記事を掲載した火山

表 1 最近 1 か月に記事を記載した火山

号	対象期間	浅間山	伊豆大島	阿蘇山	雲仙岳	桜島	吾妻山	箱根山	三宅島	福徳岡ノ場	霧島山	口永良部島	諏訪之瀬島	注 1 記号の意味
		レベル 記号	レベル 記号	レベル 記号	レベル 記号	レベル 記号	レベル 記号	レベル 記号	レベル 記号	レベル 記号	レベル 記号	レベル 記号	レベル 記号	
6	1/29- 2/ 4	② ●	① ◇	③ ●	① ◇	② ◇	●	●	●		●	●	▲	<b>注 1 記号の意味</b> ▲：噴火した火山 ●：観測データ等に変化があった火山 ◆：前期間まで▲や●で掲載した火山の、その後の状況等 ◇：その他記事を掲載した火山 ①②等の丸付き数字：火山活動度レベル  <b>注 2</b> 本文の火山名の後ろの[噴煙・噴気・地震・微動・空振・地殻変動・熱・火山ガス等]は、変化があった観測データ項目を示す。
5	1/22- 1/28	② ●	① ◇	③ ●	① ◇	② ◇	●		●	●	●		▲	
4	1/15- 1/21	② ●	① ◇	③ ●	① ◇	② ◇	●		●		●		▲	
3	1/ 8- 1/14	② ●	① ◇	③ ●	① ◇	② ▲	●		●		●		●	
2	1/ 1- 1/ 7	② ●	① ◇	② ●	① ◇	② ●			●	◆	●		▲	

### ● 吾妻山 [地震]

一切経山（大穴火口付近）の地下、深さ数 km を震源とする微小な地震は、昨年 12 月以降増加傾向にあったが、1 月 10 日～17 日、22 日～23 日にさらに増加した。24 日以降はやや減少したものの、期間中、多い日には 30 回程度発生し、やや多い状態が続いている（以上図

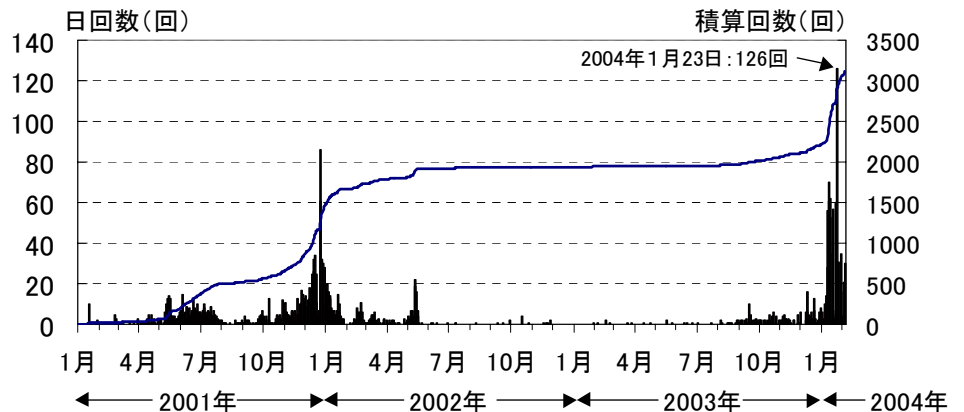


図 2 吾妻山 地震の日回数（折れ線は積算回数）  
(2001 年 1 月 1 日～2004 年 2 月 4 日)

2)。

なお、この地震活動に関して、噴気活動や地殻変動には特に変化はない。

### ● 浅間山 [地震・微動・熱] レベル2 (やや活発な火山活動)

昨年6月末頃からやや多く観測されるようになった振幅の小さい地震は、今期間も1日あたり49～88回とやや多く観測された。

振幅の小さい微動は、2月1日に1回観測された(前期間は2回)。

群馬県林務部が火口縁に設置している赤外カメラでは、火口底で引き続き高温部が観測されたものの、高温部の面積は徐々に縮小しており、火口内の温度は全体的に低下しているとみられる。

### ● 箱根山 [地震]

2月4日14時過ぎから大涌谷周辺を震源とする地震が多発し、4日の地震回数は80回となった。活動は一時的で、4日22時以降は低下した。最大の地震は、同日16時38分に発生した<sup>マグニチュード</sup>M 3.0で、箱根町湯本で震度2を観測した他、神奈川県と静岡県の一部で震度1を観測した。

神奈川県温泉地学研究所の調査によると、大涌谷の噴気の状態等に異常な変化はなかった。

国土地理院が周辺で行っているGPS観測や、気象庁が湯河原で行っている<sup>ひずみ</sup>歪計による観測では、異常な地殻変動はみられなかった。

なお、今回地震が多発した地域では、平成13年6月末～10月にも地震が多発したことがあり、この時には、噴気活動の活発化と微小な地殻変動が観測されている。

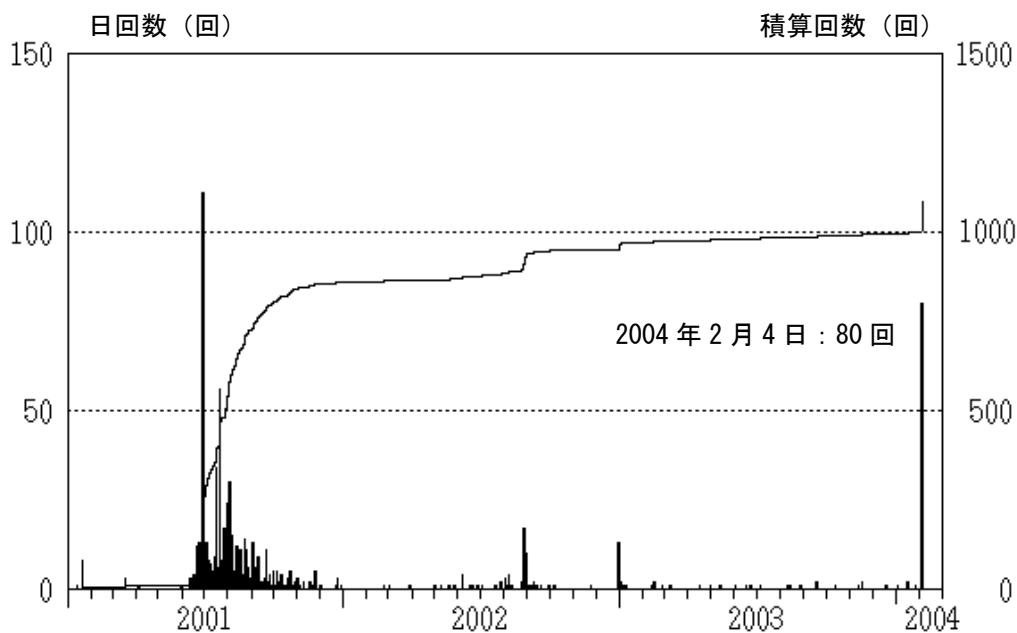


図3 箱根山 地震の日回数(折れ線は積算回数)  
(2001年1月1日～2004年2月4日)

### ◇ 伊豆大島 レベル1 (静穏な火山活動)

地震活動は静穏で、噴煙は確認されなかった。また、地殻変動等、その他の観測データにも異常な変化はなかった。

## ● 三宅島 [噴煙・熱・火山ガス・地震]

噴煙活動は引き続き活発で、白色の噴煙が山頂火口から連続的に噴出した。期間中の噴煙の高さの最高は、火口縁上 800mであった（前期間の最高は 1,200m）。

上空からの観測<sup>1)</sup>では、火口内の状況に特に変化は見られなかった。赤外カメラによる火口内の最高温度は 118℃と依然高い状態であった。

二酸化硫黄の放出量は、2月3日に行った観測<sup>1)</sup>では日量 6,700～10,200 トンと、長期的には低下傾向がみられるものの依然多い状態であった（図4）。

振幅の小さいやや低周波の地震の回数は、1日あたり 21～43回とやや多い状態で推移した。

GPSによる地殻変動観測では、昨年6月頃から再び三宅島の収縮傾向を示している。

1) 陸上自衛隊の協力による

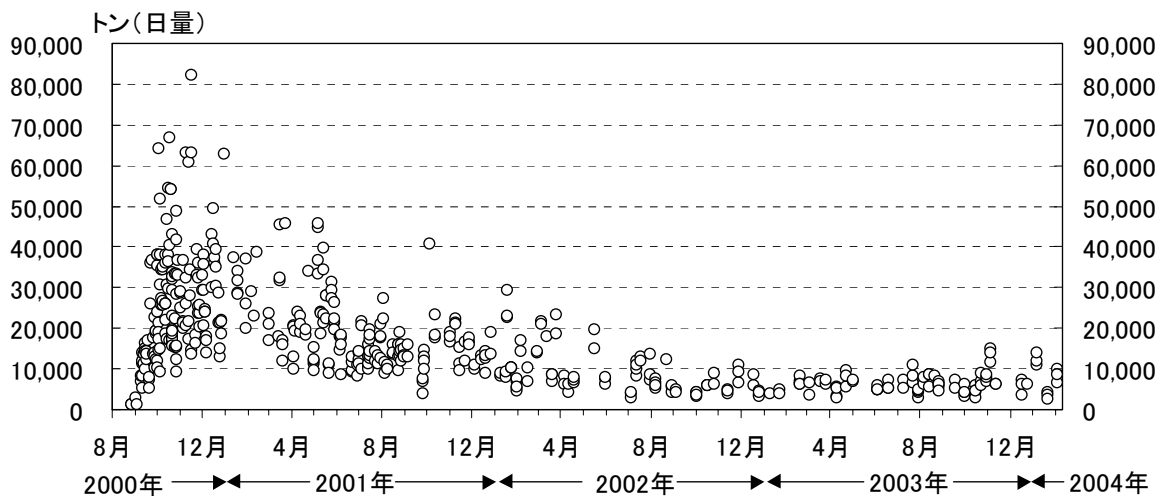


図4 三宅島 二酸化硫黄放出量の推移（2000年8月26日～2004年2月3日）

## ● 阿蘇山 [微動] レベル3（小規模噴火の可能性）

中岳第一火口の浅部の熱的な活動が活発で、孤立型微動が多い状態で推移した。

孤立型微動は 1,629回（前期間は 1,714回）と引き続き多かった。それ以外は地震の発生回数は少なく、噴煙活動や、GPS等による地殻変動の観測データには特に異常な変化はなかった。

## ◇ 雲仙岳 レベル1（静穏な火山活動）

地震活動、噴煙活動とも静穏であった。その他の観測データにも異常な変化はなかった。

## ● 霧島山 [噴気]

御鉢の噴気活動は、1月29日に一時的に白色の噴気が火口縁を越えて高さ 100mまで上がっているのが確認された。

その他の観測データには特に異常な変化はなく、霧島山の火山活動は全般的に静穏に経過した。

## ◇ 桜島 [噴煙] レベル2（比較的静穏な噴火活動）

期間中、噴火はなかった（最後に噴火したのは1月12日）。

噴煙活動は活発な状態が継続しており、噴煙の高さの最高は火口縁上 700m（乳白色）であった。

鹿児島地方気象台（南岳の西南西約 11km）では降灰はなかった。降灰は 2004 年に入ってから観測されていない。

### ● 口永良部島 [地震・微動] <期間外の記述を含む>

昨年 2 月頃から地震がやや多い状態で推移してきた。2 月 2 日 19 時頃から、身体に感じない地震が多発し、2 日の地震回数は 70 回となった（図 5）。その後も地震が多い状態が続き、期間中の地震回数は計 141 回であった（前期間は 46 回）。

また、地震が多発した時間帯の 2 日 21 時台に微動が 1 回発生し、その後、微動の発生が増えている。4 日には 6 回、5 日には 4 回発生し、そのうち最も継続時間の長い微動は 5 日の 171 秒であった。

上屋久町役場口永良部島出張所によると、これらの地震や微動の活動に関して、新岳や古岳の噴気活動などに異常な変化は見られていない。また、2 月 3 日に鹿児島県の協力により行った上空からの観測でも、山頂周辺の地熱の状況に異常な変化はなく、噴気は白色・少量で通常と変わらず、新たな噴気の発生もなかった。

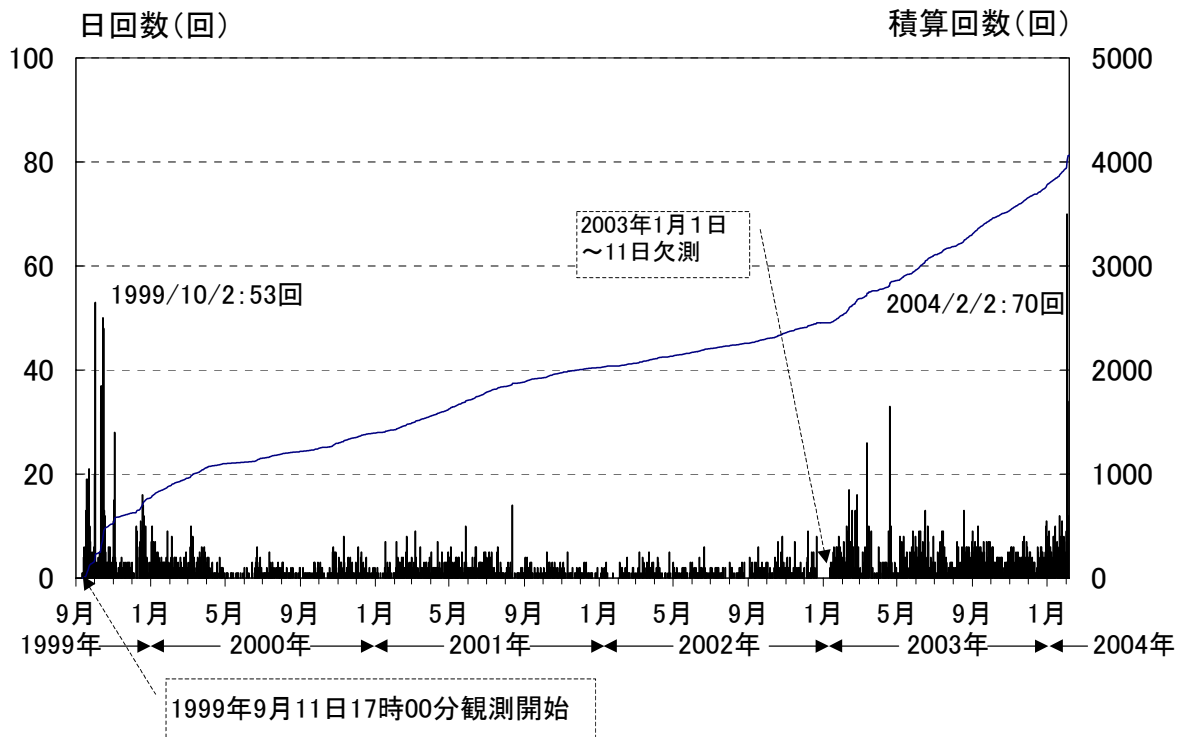


図 5 口永良部島 地震の日回数（折れ線は積算回数）  
（1999 年 9 月 11 日～2004 年 2 月 4 日）

### ▲ 諏訪之瀬島 [爆発・噴煙]

期間中、爆発が 2 回発生した（前期間は爆発 1 回）。

十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、2 月 1 日と 4 日～5 日にかけて山頂火口から火山灰を含む噴煙を上げていた。また、2 月 3 日夜には、御岳の南南西約 4 km の集落で爆発音が聞こえた。

**表 2 火山情報発表状況**

火山名	情報の種類及び号数	発表日時	概要
箱根山	火山観測情報第 1 号	4 日 17:45	大涌谷付近で地震が多発。
三宅島	火山観測情報第 54 号 ↓ (1 日 2 回発表)	29 日 09:30 ↓	活動経過ほか (噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想)。
	火山観測情報第 67 号	4 日 16:30	
阿蘇山	火山観測情報第 10 号	30 日 11:40	火山活動が引き続き活発 (孤立型微動が多い状態。現地観測による火口内の状況等)。火山活動度レベルは 3。
	火山観測情報第 11 号	2 日 11:15	
霧島山	火山観測情報第 10 号	30 日 15:00	御鉢の火山活動は消長を繰り返しながら収まってきている (噴気活動低下、地震回数が減少)。
口永良部島	<b>臨時火山情報第 1 号</b>	<b>2 日 21:30</b>	<b>地震が多発。火口周辺では火山活動に注意。</b>
	火山観測情報第 1 号	3 日 00:25	地震が多い状態、微動が発生。
	火山観測情報第 2 号	3 日 08:15	地震が引き続き多い。
	火山観測情報第 3 号	3 日 15:15	地震が引き続き多い、噴気活動や地熱の状況に変化なし。
	火山観測情報第 4 号	4 日 15:00	地震は減少、微動が発生。